

市議会だより

みんなで守る 地域の未来



令和3年第3回定例会 (8月30日～9月22日)

令和2年度一般会計など6会計の決算を認定
新型コロナなどに対応した補正予算可決

令和3年第3回臨時会 (11月2日)

市道路線の認定(継続審査)が可決
3回目のワクチン接種に対応した補正予算可決

★Contents★

- 2 令和2年度決算認定
- 4 議案をチェック
- 8 一般質問
- 14 議案の審議結果
- 15 お知らせ
- 16 楽しく しっかり学ぶ“防災”

9月
定例会

上程された
議案

決算の認定

6件

条例の改正

4件

補正予算

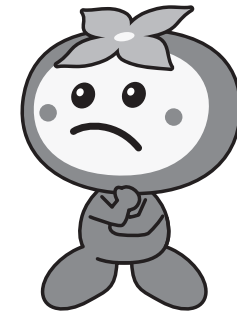
5件

事件議決

5件

議員提出

1件



瑞穂市の お金の使い道！

9月議会でチェック！！

一般会計・特別会計・企業会計

R2年度
決算

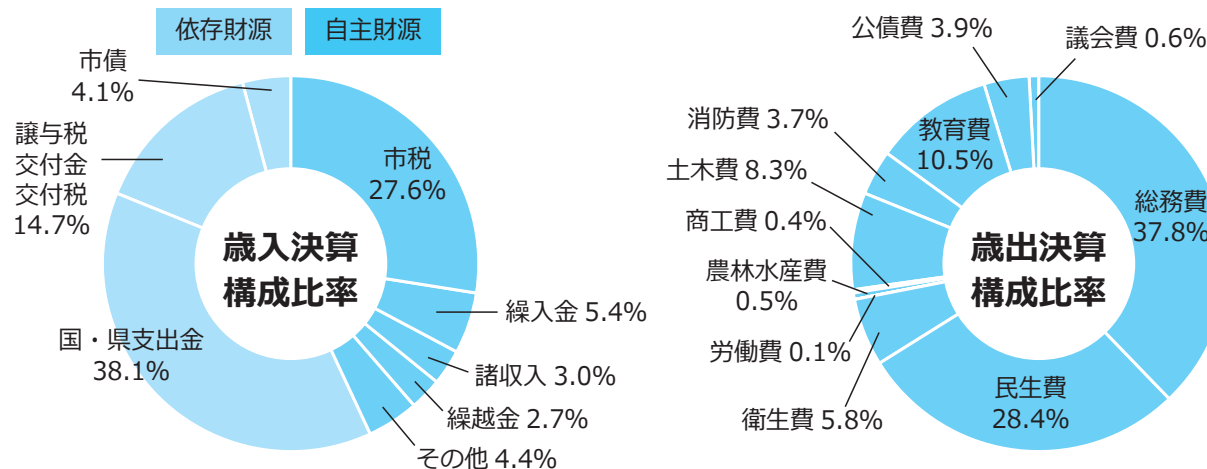


一般会計の決算

歳入総額 258 億 7,593 万 5 千円 前年度対比 79 億 9,668 万 8 千円増

歳出総額 247 億 2,733 万 5 千円 前年度対比 75 億 4,797 万 6 千円増
翌年度へ繰り越すべき財源 3 億 9,927 万円

実質収支額 7 億 4,933 万円



特別会計の決算

区 分	歳 入	歳 出	差 引 額
国民健康保険	45 億 6,206 万 7 千円	44 億 5,618 万 2 千円	1 億 588 万 5 千円
後期高齢者医療	6 億 136 万 1 千円	5 億 8,424 万 7 千円	1,711 万 4 千円
農業集落排水	2,441 万 1 千円	2,218 万円	223 万 1 千円

企業会計の決算

区 分	収 入	支 出
水 道	収 益 的	5 億 9,025 万 7 千円
	資 本 的	4 億 9,782 万 5 千円
下 水 道	収 益 的	7,744 万 1 千円
	資 本 的	3 億 7,918 万 8 千円
下 水 道	収 益 的	2 億 3,976 万 1 千円
	資 本 的	2 億 77 万 1 千円
下 水 道	収 益 的	1 億 6,120 万 6 千円
	資 本 的	2 億 1,470 万 7 千円

令和2年度決算は、特別定額給付金事業を筆頭とする新型コロナウイルス感染症対策に係る事業の増加により、歳入歳出ともに大幅な増額となりました。

総務費 新型コロナウイルス対策

地域振興券(かきりん振興券)発行 プレミアム付商品券販売

新型コロナウイルス感染症による経済的・精神的な影響の緩和や、停滞している経済状況の改善を目的として、地域振興券(かきりん振興券)を18歳未満・高齢者・障がい者の方々へ発行したり、プレミアム付商品券(かきりん振興券)を販売しました。

【議案第46号 一般会計決算】

Q どの程度の店舗が実施し、どのくらい使用されたのか。

A 登録店舗数は178店舗で、換金された金額については、地域振興券発行分が1億898万6千円、プレミアム付商品券分が3億4,749万1千円となった。換金額の多い業態はショッピングセンター、薬局、化粧品店、家電量販店、ホームセンターであった。

歳入 安定的な財源の確保



税収の確保 ふるさと応援寄附金

新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金の増加により、最大規模の決算となりました。

【議案第46号 一般会計決算】

Q コロナ禍における安定的な財源の確保について、どのように考えているか。

A 税収の確保やふるさと応援寄附金などに力を入れ、安定的な財源の確保に努めたい。また、市に有利な起債や補助金がないか日々情報収集をしていきたい。

9月
定例会その他の
議案を
チェック！

コロナ関連 市内事業所の景気回復を目指す

キャッシュレス
消費者還元事業

コロナの影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起、下支えすることを目的として、キャッシュレス消費者還元事業が実施されます。

市内事業所を対象にキャッシュレス決済サービスを利用した際、金額の20%がポイントで還元されます。

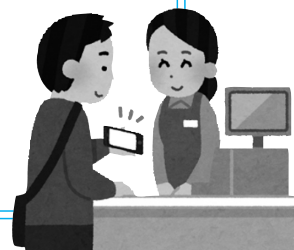
対象期間

令和3年12月1日～28日

【議案第54号 補正予算】

Q 商工会に業務を委託されるが、キャッシュレス決済を進めていきたいと考える事業所はどの程度あるのか。

A 現在、945の事業所が商工会に加入しており、約13%がキャッシュレス決済を行っているとしている。未実施の事業所で、キャッシュレス決済実施希望については把握できていない。市内事業者のキャッシュレス決済の導入について積極的に検討いただけるよう、商工会や関係者と連携して啓発、推進をしていきたい。



まちづくり 新庁舎建設に向けて

新庁舎建設検討委員会を設置

新庁舎建設の建設位置の決定、事業手法の検討その他の基本計画に関することについて審議することを目的として設置されます。

委員は、15人以内で構成され、任期は基本計画策定までです。

【議案第42号 条例の改正】

Q 新庁舎建設検討委員会に対する諮問案の準備はどのように進められているのか。

A 今年度は、建設候補地の敷地条件等の確認や法的な制約の精査を委託業務として出しており、諮問用資料を作成している状況である。令和4年度の諮問案の内容は、建設位置の決定についてを考えている。公表については、新庁舎建設検討委員会の第1回の開催時期に合わせて予定している。

教育 中学校の部活動の在り方について検討

地域部活動検討委員会を設置

中学校部活動の意義と課題、改革の方向性、休日の部活動の段階的な地域移行など、地域部活動の在り方に関して必要な事項について協議、検討することを目的として設置されます。

委員は、15人以内で構成され、任期は2年です。

【議案第42号
条例の改正】

Q どのような方向で検討していくのか。また、公募委員を加えない理由は。

A 文部科学省から送付された文書では、令和5年度以降の土日を学校部活から地域部活へ段階的に進めていくことが求められている。検討する委員として、各中学校の部活動に携わってられる社会人指導者や市の体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど各種団体をはじめとした地域人材の活用の仕組みを構築できる方を中学校の推薦を受けながら選定していくことを考えている。



環境整備 牛牧南部コミセン、地区社協の拠点として活用

トレーニングルーム、温水プール廃止

平成14年に開館し、まもなく20年が経過する中、ボイラー等を含めた施設の老朽化が深刻であり修繕費等が必要であること、また、牛牧地区の社会福祉協議会の拠点確保の要望があったことなどから、トレーニングルーム、歩行用温水プールを廃止し、トレーニングルームは地区社協の拠点に、温水プールは防災物品等を保管するスペースに転用されます。

【議案第44号 条例の改正】

市民の健康増進のための代替案は？

★トレーニングルームの代替案を検討

市民センター内サーキットトレーニング室と統合

※活用頻度が高かったトレーニング機器を市民センターへ移管し、今後も有効活用することを検討

★歩行用温水プールの代替案を検討

「屋内温水プールゆ〜みんぐ」の利用料の助成

※市内に在住する40歳以上の方を対象に、回数券の半額を助成する制度を検討

Q 歩行用温水プールを廃止し、防災倉庫にするだけではなく、よりよい防災の拠点となるよう、今後の利用方法についても検討されるのか。

A 現時点では、防災備蓄品を収納するスペースとして考えているが、必要とするものが十分に入りきらない状況になるかと思う。



▲防災備蓄品倉庫として転用

子育て 公私連携型保育所（牛牧地区）の整備に向けて

用地購入費を予算計上

公私連携型保育所として整備する用地購入費が計上されました。

新設される「公私連携型認定こども園」は、令和7年4月の開設を目指されます。

【議案第54号 補正予算】



Q 土地購入を補正予算で計上した経緯は。

A 牛牧第1保育所の老朽化や牛牧小学校の児童の増加等、総合的に検討してきた。

牛牧小学校の児童の増加については、令和7年度の全学年35人学級実施に向け、教室数の推移を考察した。通常学級は24学級で当面変動はないとされるが、今後、特別支援学級に入級する児童の増加や日本語指導を必要とする児童の増加によって教室が不足する可能性がある。教室不足は、現在放課後児童クラブが使用している2教室を空けることで解消される。そのために、現在の放課後児童クラブを現牛牧第1保育所に移動し、公私連携型による保育所整備を早急に進めることが適切と考えた。

教育 オンライン授業の安全で安心な環境を整える

モバイルルーター購入費と フィルタリング費を予算計上

5月末に市内小中学校の児童生徒に貸与されたタブレット端末。必要に応じてオンライン授業を行えるよう準備が進められています。

Wi-Fi環境についての調査結果を踏まえ、モバイルルーター50台の購入費と、子どもたちが家で使っても安全で安心なセキュリティ対策のため、フィルタリング費が予算計上されました。

【議案第54号
補正予算】



Q コロナ禍を考慮し、オンライン体制を整えるため、6月議会でこの補正予算を提出できたのではないかと。

A オンライン授業は、Wi-Fi環境が整備されればすぐにできるというわけではない。子どもたちが各家庭へタブレットを持ち帰ったら、そこにはネット環境があり、いろいろなサイトへ接続が可能となり、アクセスできてしまう。タブレットそのものにもセキュリティのための簡易なフィルタリングがあるが、その状況では不十分だと判断した。新聞やマスコミ、他市町の事例等からトラブルを把握し、子どもたちが家で使っても安全で安心な環境を整えたいということを考え、調査・研究を進めてきたため、今回の予算計上となった。

まちづくり 別府交差点、変則5差路の改良を目指す

JR穂積駅周辺 交通機能等改善事業

穂積駅周辺の円滑な道路交通や安全性の確保などを目的として、北方多度線から駅南口へのアクセスポイントとなる別府交差点周辺の改良事業が計画されています。交差点を変則5差路から、正十字4差路化への改良を目指されます。

【議案第59号 道路認定】

Q 認定された後、どのようなスケジュールで進めていくのか。

A 現在、関係機関と協議を進めており、計画を固めたら、土地の関係の方へ細かい説明をさせていただく。事前に、近接されている店舗の土地所有者、店舗経営者には説明をさせていただいている。また、地元の区長さんや自治会長さんへも説明を進めている。早ければ令和4年から補助事業化していきたいと考えている。

産業建設委員会が議案第59号を継続審査へ 引き続き審査していきます

理由

議案第59号の市道路線の認定について（その2）は、別府交差点改良事業・駅西会館駐車場整備事業に伴う市道路線の認定をするものであるが、この市道路線の認定については、事業を進めるにあたり諸事情を勘案し調査、審査する必要があるとし、閉会中もなお継続審査を要する。



※継続審査とは、定例会の会期中に結論を出すことができない場合もあるため、会期不継続の原則の例外として、議会の議決によって、閉会中などに引き続き審査することです。

コロナ関連 ワクチン、3回目の接種が始まる

ワクチン接種体制確保事業

3回目のワクチン接種体制に必要な経費が、計上されました。

令和3年12月から令和4年7月末までの接種体制確保等に要する経費が対象です。

医療従事者の接種から、順次開始される予定です。

【議案第62号 補正予算】



Q 3回目の接種の具体的な進め方は。

A 早ければ12月末から1月にかけて、医療従事者の方の接種を考えている。2回目の接種後、概ね8か月以上経過した方から3回目の接種が可能となるため、1、2回目の順位が反映される。高齢者の方の接種は、2月から3月にかけて始めていきたい。

Q インフルエンザワクチンとの関係性は。

A コロナワクチン2回目の接種から一定の間隔を空ければ、インフルエンザワクチンを打てると聞いている。主治医の先生にご相談の上、接種していただくことになるかと思う。

11月臨時会

上程された
議案

補正予算

1件

産業建設委員会 継続審査案件

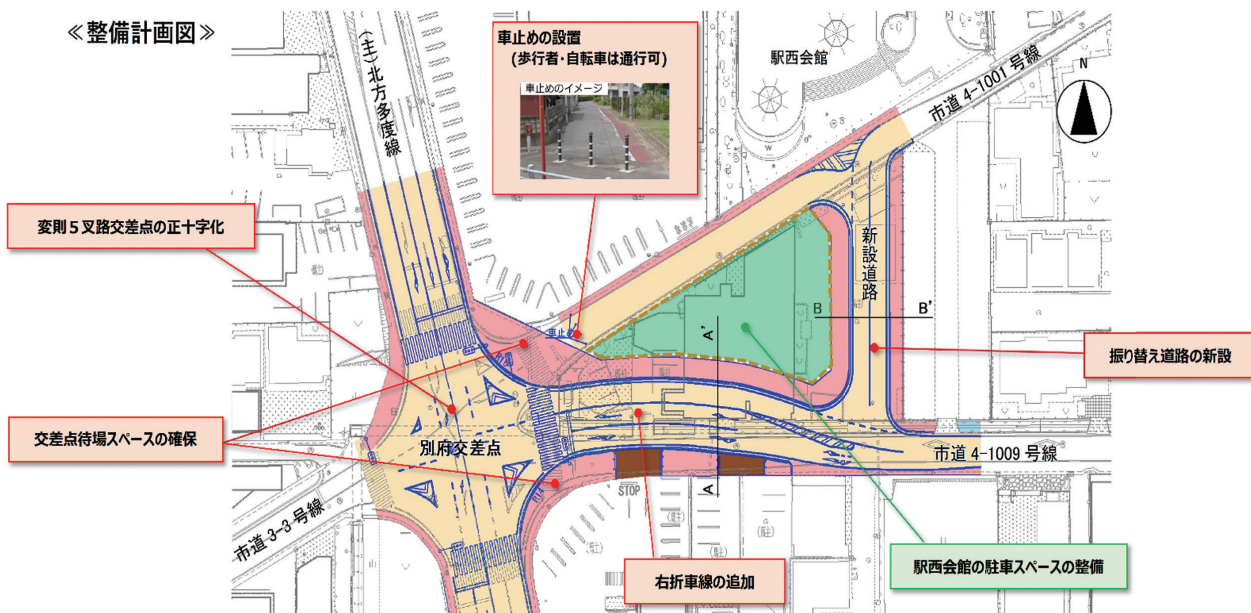
議案第59号 全会一致で可決し、審査終了 別府交差点、駅西会館駐車場を整備

閉会中の継続審査となっていた「議案第59号 市道路線の認定について（その2）」の審議を行いました。産業建設委員長からの報告の後、質疑、討論、採決の結果、全会一致で可決しました。

これらの事業は、令和7年度の完成を目標に進められます。

Q 今回の別府交差点改良は、新たに道路を造るという特殊な事案と感ずるため、特に市民への説明が必要ではないかと思っていた。実施前に今回のアンケート調査ができたことに対し、どのように考えるか。

A 今回の意見聴取については、当初から説明会を開催する予定であったものをコロナ禍のため書面で行った。3自治会の市民から幅広い意見がいただけたのではないかと考えている。



※この整備計画図は、あくまでも現時点のものであり、確定したものではありません。



公共下水道について、今後の市民・議会への説明は



副市長

都市計画決定から5年経過しており、改めて議会・市民への説明を進めていきたい



庄田昭人議員

Q 受益者負担について今後どのように進めるのか。

A 受益者負担とは、下水道が整備された土地は、土地の価値が上がるため、土地面積に応じて下水道建設費の一部を一度だけ土地所有者に負担いただく制度である。市上下水道審議会にて、審査・検討を行い、額や猶予制度などを決定し、令和4年3月を目標に公表したいと考える。

Q 市民から水環境を守りたいなどの声を聞くが、市にはどのような声が届いているのか。

A 市民からは、受益者負担は幾らになるのかや、早く下水道を通してくださいなどの要望がある。「未来に届けたい、瑞穂のまちを潤す豊かな水環境を」が、水環境に対する思いである。下水道は、市のまちづくりには欠かせないインフラ施設で、市民生活を支える重要なライフラインとして不可欠である。早期に整備を

進めていきたい。

(環境水道部長)

農業の推進

Q 瑞穂農業振興地域計画の基準見直しの効果は。

A 農業振興地域であるため、今回の適合基準によつて宅地化が劇的に進行するとは考えにくい。相談は10件以上あり、一定の効果はあったと考える。

(都市整備部長)

Q 現在農業に従事している方や新しく農業に参入したいと考えている方への支援が必要と考えるが。

A 農業従事者には、県とJJAと連携し先進事例の情報提供やサポート機関の紹介などを行っている。新規に就農したい方には、国の補助事業を活用しながら、現在の農業従事者と同様に関係機関と連携し、農地の貸し借りや就農計画などのサポートを引き続き行っていきたい。

(都市整備部長)



森・新月・美江寺・古橋地区の犀川増水による被害への対策は



調整監

犀川河川改修は順次行われており、現在、下犀川橋付近の堰や橋梁等の設計が進められている



若園五朗議員

組織改革の推進

Q 来春、庁舎内各部署に係制を導入し、新たな組織体制の移行に取り組まれるが、どのような計画か。

A 今後、10月を目途に係制の詳細を決定し、11月に職員向けの説明会を行い、12月議会に関係条例の改正案を上程し、順次、広報紙やホームページを通して市民の皆様に周知を行いたい。

(総務部長)

新型コロナウイルス感染症

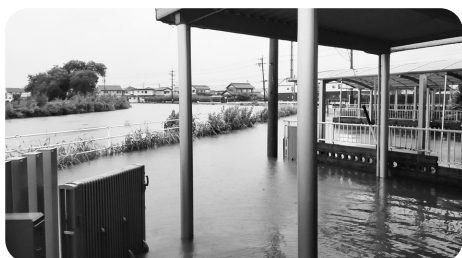
Q 新規感染者の増加に対して新しい手立てを考えているか。

A 報道によると、3回目のワクチン接種の話も出ている。新しい情報も視野に入れ、対応していきたい。

(健康福祉部長)

安心安全なまちづくり

Q 高齢者や通学路の安全対策や危険箇所の確認、薄くなった道路の白線、標識やガードレールの整備について、政府の緊急対策ポイントを踏まえ、どう進めていくか。



▲犀川増水による森地区の道路冠水

A 指定通学路を優先に、車両に対しての注意喚起対策として、区画線やカラー舗装の更新、水路が併設する道路沿いに転落防止柵の設置などを行い、より一層の安全性向上に努めたい。

(都市整備部長)

Q 令和4年4月から、中山道大月多目的広場において複合遊具施設等の利用が始まる。施設管理体制が必要と考えるが。

A 公園の管理業務の区分に従い、維持管理・運営管理・法令管理の業務と安全対策、事故防止対策、防犯対策、防災対策の検討を行っている。(教育委員会事務局長)



県道92号線の早期開通に向けた市長の考えは



市長

橋梁^{りょう}の設計など少しでも事業の予算化をして
いただけるよう要望活動を続けていきたい



若原達夫議員

Q 県道92号線（岐阜・
巣南・大野線）の進捗状
況は。

A 土地取得については、
残り2筆、案件としては
1件という認識である。
県とは常に情報を共有し
ながら、今まさに面談を
かけたり、行政機関に書
類を送ったりしている最
中であり、順次進めてい
るところである。

（調整監）

教職員の喫煙対策

Q 教職員の喫煙問題と
三次喫煙の対策は。

A 岐阜県教育委員会か
らの通知には、受動喫煙
の防止対策の具体的な内
容等の指導事項が示され
ている。これらを踏まえ、
敷地内禁煙や三次喫煙の
リスクなどについて校長
会や教頭会を通して指導
を行っている。改正健康
増進法には、学校敷地内
に特定屋外喫煙場所を設
置できるとされているが、
市内には設置した学校は
ない。また、三次喫煙に
よる健康被害を心配する
声については重点的に取

り上げたい。児童生徒、
喫煙しない教職員に対し
て不快感を与えることが
ないような配慮について
指導したいと考えている。

（教育長）



コロナ禍における 学校行事と対策

Q コロナ禍の学校行事
についての考えは。

A 修学旅行の実施につ
いては、県が示している
マニュアルを基に検討し
ている。コロナ禍ではあ
るが、いかにして修学旅
行を実施できるかという
ことを世の中の状況が変
化するたびに考えている。
各学校では、昨年度から
保護者を交えながら検討
を行っている。

（教育長）



国民健康保険税、子どもの均等割を減免すべきではないか



市民部長

法改正により、4年度分から未就学児の均等
割保険税が最大5割軽減され、公費で支援



関谷守彦議員

Q 国民健康保険基金は
積み立て過ぎではない
か。

A 基金で見ると、年度
で増加があるように思わ
れるが、繰越額を含めた
資産合計は、減少傾向に
ある。国民健康保険事業
費納付金を賄える保険税
収入の不足が生じたとき
の財源として、基金を運
用して、安定した国保運
営をしたいと考えてい
る。

（市民部長）

下水道事業と財政計画

Q 下水道事業につい
て、担当部局と財務部局
との調整は行われている
のか。

A 事業ヒアリングや重
要事業等市長ヒアリング
などを通し協議してい
る。瑞穂処理区の令和9
年までの事業スケジュール、第1期事業収支計
画、令和8年度までの一
般会計からの補助金、起
債、社会資本整備総合交
付金についての説明を受
け、協議した。

（総務部長）

Q 「PPP／PFI導
入検討調査報告書」に則



▲穂積駅喫煙所前を通る通勤者

した調整を行うことに
なっているが、どうで
あったか。

A この調査は、全体計
画を見直すことを目的と
していない旨を担当部署
に確認しており、財政の
再検証は行っていない。

（総務部長）

穂積駅の喫煙コーナー

Q 穂積駅の喫煙所の現
状認識と望まない受動喫
煙を防止する方策は。

A 北側の喫煙所は分煙
や環境美化を目的として
設置しているが、効果が
一部発揮されていない状
況と考えている。次の更
新時には、ボックス形式
にするか、位置の変更を
するかなど検討してい
く。

（環境水道部長）



市役所業務における来年4月からの係制導入の進捗状況は



総務部長

現在、各所属が、係の配置、市民から見て分かりやすい係の名称を検討している



松野藤四郎議員

Q 潜在的な課題である公共施設の管理や行政サービスの推進などの事業を抱える部署の問題解決に、審議会等の設置の考えは。

A 当市は、多様化する行政需要に対して限られた経費で経済性・効率性・有効性を意識した行政運営を推進するための組織として、瑞穂市行政改革推進本部がある。問題解決が必要な場合には、この組織で対応可能と考えており、新たな審議会等の設置は現時点で考えていない。

(総務部長)

Q 健康福祉部の業務は本庁舎と総合センターに行っているが、手狭な本庁舎ではなく、総合センターの利用状況を精査すれば移動可能と考えるが。

A 健康福祉部の在り方や総合センター2階の今後の活用について、再度、本腰を入れて検討していきたい。

(健康福祉部長)



女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画

Q 管理職の女性割合の目標値は20%であるが、実績値は14.3%となっている。女性職員の登用拡大や人材育成、男性職員の育児休業の取得しやすい環境整備が必要では。

A 女性職員の管理職登用を進めるため、女性職員自身の意識改革や企画・管理能力等を高める研修の受講を推奨している。女性職員を多様なポストに積極的に配置するとともに、各役職段階における人材プールの確保を念頭に置いた人材育成を進めている。また、育児休業を取得する男性職員は増えてきたが、今後も制度の周知を行い、管理職などの理解を高め、取得しやすい環境整備を進めたい。

(総務部長)



通学路の社会資本整備総合交付金を活用した事業及び今後の計画は



都市整備部長

昨年34か所の交差点防護柵を設置。本年度は（仮称）柳一色歩道橋整備工事を実施



杉原克巳議員

Q 瑞穂市通学路安全推進会議は、安全確保の取組方針を定め、どのような事業を実施しているか。

A 以前よりも通学路を優先的に区画線やカラー舗装の更新、水路の転落防止柵の設置を実施している。（都市整備部長）

A 牛牧小学校においてPTAと連携し、予測される危険について各家庭で話し合い、危険予知能力を向上する取り組みを行った。また、中学校において学校安全指導者派遣制度を利用して自転車に関する交通安全教育を実施した。（教育長）

Q 十七条地内通学路街路樹が3m以上に伸び病虫害の発生、ドライバーの視界障害となつている。現在の樹木を伐採し、他の植栽への変更は出来ないか。

A 街路樹の管理は管理委託業務を締結している。病虫害の駆除については実施時期の調整を行う。樹木による視距不良については交差点付近の

剪定をするなどして視距の確保を行う。植栽変更は行わず、現状の樹種の維持管理を適正に行い保全していきたいと考えている。（都市整備部長）



▲十七条地内交差点

農業振興策

Q 瑞穂市第2次総合計画後期基本計画に、地産地消推進事業、農業次世代人材投資事業を掲げているが、その内容は。

A 地産地消推進事業では学校給食地産地消推進事業を行い、地元産の農作物を積極的に活用し、愛着を生むことにより継続的な消費の拡大を図っている。農業次世代人材投資事業では経営開始型で4人の就農者が交付を受け、県、市、JA等で構成するサポートチームの指導を行っている。（都市整備部長）



公共料金の電子決済についての考えは



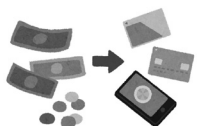
市民部長

当市は、令和4年度に向け、スマホ収納決済事業の拡大を検討し、調整している



若井千尋議員

公共施設のWi-Fi環境
Q 当市で現在利用可能なフリーWi-Fiは何力所か。また、有事の際の避難場所やその他公共施設の環境整備の考えは。
A 本田コミュニティセ



(市民部長)

Q 最近、市役所の窓口等でクレジットカードや携帯を利用した電子決済が主流となっているが、当市の現状と住民サービスの向上等を考えた今後の対応は。
A 軽自動車税に限ってクレジット納付を行っているが、今年度で終了となる。また、バーコード付きの納付書でスマホ収納を一部始めているが、選択肢が少ないのが現状である。国は、令和5年度課税分からQRコード付き納付書にて金融機関での納付や携帯や自宅での決済ができるよう、準備している。

Q 最近、市役所の窓口等でクレジットカードや携帯を利用した電子決済が主流となっているが、当市の現状と住民サービスの向上等を考えた今後の対応は。
A 軽自動車税に限ってクレジット納付を行っているが、今年度で終了となる。また、バーコード付きの納付書でスマホ収納を一部始めているが、選択肢が少ないのが現状である。国は、令和5年度課税分からQRコード付き納付書にて金融機関での納付や携帯や自宅での決済ができるよう、準備している。

災害対策と発信力の強化
Q 激甚化・頻発化する水害に対して「流域治水の推進」の強化と必要性を考えるが、対策は。
A 市内では、国や県において浸水防止対策が実施され、犀川遊水地整備事業や犀川及び五六川等で河川改修が進められている。市としても、河川整備を引き続き強く要望するとともに、牛牧排水機場の建設や十九条遊水池、古橋調整池の整備を実施し、流域治水対策を推進していく。
(調整監)



自然災害、前線停滞による大雨時の避難指示等の対応は



企画部長

避難指示は市長の英断になるため、早く的確な情報を市長に上げ、対応をとっていく



森 健治議員

Q 市民メール等の啓発チラシが配付されたが、効果や反響は。
A 7月22日から市民メールへ登録していただくチラシを配付した。22日の1日だけで221件、1週間の配付期間を中心に700件を超える登録があり、一定の効果はあった。(企画部長)

Q 8月中旬の停滞前線による大雨の瑞穂市の状況と警戒体制は。
A 森地内の県道田之上・屋井線と県道に接続する市道が冠水したため、消防団に土のう積みによる止水等の措置をしていただいた。市の体制としては、13日午後5時20分に大雨洪水警報発令により、第1警戒態勢をしき、市民協働安全課と都市管理課職員による情報収集と現地対応を行った。14日午前4時30分には市警戒本部を設置。午前8時20分には防災警戒体制班20名を招集しパトロール等実施。午後6時に新たな班19名を招集し、翌日午前0時に新たな班16名へと引き継いだ。危険性が低くなったことから15日午前7時30分に警戒本部及び防災警戒体制班を解散、準備態勢も午前9時30分に解いた。(企画部長)



▲昭和51年9月の水害(防災読本より)

Q 災害時の避難指示が出せなかった場合の対応は。
A 現在の災害は、想定をはるかに超えるものだとご理解していただきたい。速やかな避難行動を取るためには、平時から、市民の皆様が避難行動をあらかじめ決めておくことが重要で、これが個別避難計画に繋がっていく。
(市長)



市制20周年に向けた取り組みは



企画部長

早期に第1回実行委員会を実施し、テーマや事業等の方向性を話し合う



広瀬守克議員

Q 今後のスケジュールは。

A 令和4年度の市制20周年記念ブレ事業、令和5年度の市制20周年記念事業に向けて体制を整備する予定である。記念式典の日程は、他事業実施等の都合や出席される方の配慮等を考慮し、検討していく。(企画部長)

Q 事業における市としての方針や考えは。

A 総合計画後期基本計画の基本目標と基本施策にもある「平和」「人権」「環境」をキーワードに、SDGsの視点に立つてソフト事業を調整していきたいと考えている。(企画部長)

別府交差点改良工事事業

Q 駅南整備計画との整合性についての考えは。

A 道路や駅前広場などの総合的な整備計画の調整や事業の進め方などの検討、国の補助金などを最大限に活用するような事業計画のシミュレーション等を進めている。短期的な事業として位置づけている別府交差点改



▲改良を目指す別府交差点周辺

良事業などの交通機能等改善事業は、中長期的な土地区画整理事業等による駅周辺整備の計画を見据えながら、将来ビジョンとの整合を図りつつ事業を推進していく必要があると考えている。

(都市整備部長)

公共下水道事業

Q 事業全体計画を十分に説明し、市民合意に鋭意努めることになっているが、現在の用地取得などの進捗状況は。

A 個別にて説明し、交渉を行っている。用地補償の内容や事業についての質疑応答をさせていただき、正しくご理解を得られてからの契約と考えている。相続や納税猶予、補償物件など手続きに時間がかかる方から話をさせていただいている。(環境水道部長)



人口増加のための施策は



企画部長

子育て世代への支援の充実や創業者支援セミナーの開催等企業・創業支援を行っていく



馬淵ひろし議員

Q 出生率向上に対する具体的な施策は。

A 来年度に国の地域少子化対策重点推進交付金を活用し、世帯所得400万円未満の新規に結婚した世帯を対象とした瑞穂市結婚新生活支援事業の創設を検討している。(企画部長)



▲岐阜県瑞穂市移住促進パンフレット(2021年3月発行)

誰もが居場所と役割のあるまちづくり

Q 子ども食堂や学習支援などの「子どもの居場所づくり」の現状と今後

は。

A 現在行っている生活困窮世帯への学習支援や子ども食堂事業、ひとり親世帯への学習支援・生活支援事業は継続し、市

民篤志家や民間団体等による居場所づくりについては社会福祉協議会等、関係機関と共に地域の居場所づくりの実現を図る。(健康福祉部長)

Q 市民の自主的な活動を支援する「市民活動支援事業補助金」は。

A 校区単位の課題の解決に向けた事業計画の支援や補助を行う制度があり、地域の方が地域の特徴を生かした事業を計画し、実行している。

Q 地域の集会場などでの居場所づくりは。

A 公民館で介護予防の教室を立ち上げるための、モデル的な体操教室を始めた。今後は障がい者や子どもたちも含めた地域づくりが重要と考える。(健康福祉部長)

持続可能な下水道整備事業

Q 接続率向上施策は。

A 各自治会への下水道推進員の提案や発注業務に水洗化促進業務を義務事業として位置づけ、水洗化の促進を図る。

(環境水道部長)



コロナ禍で財政状況が心配。今後、市税の増減は



市民部長

債権管理室が設置されたことにより、徴収率が向上し、大きな減額補正はないと考える



藤橋直樹議員

Q 市税の歳入状況、来年度は減少となるのか。

A 市民税は、コロナ禍における所得の減少による減収と、納税義務者の増加による増収で、大幅な減少はないと予想している。固定資産税は、新築戸数の増加により若干の増額と予想している。

(市民部長)

Q 財政指標が向上しているが、その理由は。

A 財政力指数や実質公債費比率の公表値は3年度平均では向上しているが、単年度で見ると悪化している。経常収支比率は向上しているが、新型コロナウイルスの影響による歳出減少もあるため一時的な要因だとも言える。

(総務部長)

Q 財政力が向上し、市民サービスの向上に繋がるのか。

A ポストコロナに対応しつつ、基金残高の維持にも配慮し、事業ヒアリングを通して、予算要求を効果的にシエイプするとともに、やるべき事業には集中して投資するバ

ランスが必要不可欠だと考えている。

(総務部長)

校区単位の地区協の立ち上げと地域づくり

Q 地区協立ち上げに対する市の支援策と将来の展望は。

A 地区協と市が一緒に問題解決を図っていくことが地域づくりの一つの理想形だと考えている。地域福祉計画の理念のとおり、地域と共に歩んでいく所存であり、財政的にも人的にもできる限りの支援をしていく考えである。また、地区協の活動は、生活に身近なところでの相談や交流など活動を地域に根差したものにするため、拠点が必要と考える。要望等があった場合は、市の施設も含め、あらゆる可能性について検討していきたい。

(健康福祉部長)



▲地区協の拠点
南部コミュニティセンター



中学校入学時に入学祝い金として、一人に付き10万円を支給しては



教育長

就学援助受給要件に該当する方には、新入学生用品費を支給しており、現在は考えていない



北川静男議員

Q 制服の自由化を含め校則の見直しの考えは。

A 各学校において、校長の指示の下に地域の実態を踏まえながら、生徒や保護者の意見も十分に聞きながら検討していくことが重要であると考えている。

(教育長)

高齢者の生活支援

Q 瑞穂市における高齢者の生活支援サービスの現状と問題点は。

A 見守りや配食、移動支援に係る事業を実施している。社会福祉協議会においても、福祉車両の貸出や買い物等支援事業などのサポートがある。いかにきめ細かく制度設計をするか、地域や対象者などの関係者の意見をいかに多く反映できるかが課題である。

(健康福祉部長)

Q 足の確保のためのデマンドバスの運行は可能か。

A コミュニティバスに加えデマンドバスの運行になると費用面がさらにかかる。現在のところ、デマンドバスは現実的で

はなく、研究課題だと考える。

(健康福祉部長)

高齢者生活支援のための民間企業活用

Q 民間サービスの現状把握と地域の可能性について探り、今後は、地域での地区協等の動きと民間サービスの連携についても検討していきたい。

(健康福祉部長)



ワクチン接種とコロナ対策事業

Q 小中学校への抗原検査簡易キットの予算化の考えは。

A 文部科学省から当市にも配付予定だという通知があった。すぐに医療機関を受診できない場合や緊急時に備えて保管しつつ、学校医と相談しながら対応したい。

(教育長)

令和3年第3回定例会 議案の審議結果

議 案 名 等			議員名（会派別） （◎は会派代表者）	議 決 結 果	新生クラブ						創緑会					立	公	朱	み	共	議 決 月 日	
					◎ 若 園	◎ 藤 橋	◎ 庄 田	◎ 今 木	◎ 松 野	◎ 馬 淵	◎ 廣 瀬	◎ 森 清	◎ 森 健	◎ 北 川	◎ 若 原	◎ 藤 橋	◎ 松 野	◎ 若 井	◎ 棚 橋	◎ 杉 原		◎ 関 谷
提出議案 審議会	発議第8号	出産育児一時金の増額を求める意見書	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
市長提出議案	議案第42号	瑞穂市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第43号	瑞穂市手数料条例等の一部を改正する条例について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	8/30	
	議案第44号	瑞穂市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第45号	瑞穂市牛牧北部防災コミュニティセンター条例の一部を改正する条例について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第46号	令和２年度瑞穂市一般会計歳入歳出決算の認定について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	9/22	
	議案第47号	令和２年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第48号	令和２年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第49号	令和２年度瑞穂市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第50号	令和２年度瑞穂市水道事業会計決算の認定について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第51号	令和２年度瑞穂市下水道事業会計決算の認定について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	9/22	
	議案第52号	令和２年度瑞穂市水道事業会計剰余金の処分について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第53号	令和２年度瑞穂市下水道事業会計剰余金の処分について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	9/22	
	議案第54号	令和３年度瑞穂市一般会計補正予算（第５号）	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	9/22	
	議案第55号	令和３年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第56号	令和３年度瑞穂市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第57号	令和３年度瑞穂市農業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第58号	市道路線の認定について（その１）	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
	議案第59号	市道路線の認定について（その２）	継 続 審 査																			
議案第60号	市道路線の廃止について	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	9/22	
議案第61号	令和３年度瑞穂市一般会計補正予算（第６号）	可	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	9/22		

令和3年第3回臨時会 議案の審議結果

議案名等			議員名（会派別） （◎は会派代表者）	議決結果	新生クラブ						創緑会				立	公	朱	み	共	議決月日			
					広瀬	◎若園	藤橋	庄田	今木	松野	馬淵	◎広瀬	森	森	北川	若原	藤橋	◎松野	◎若井		◎棚橋	◎杉原	◎関谷
					武雄	五朗	礼治	昭人	啓一郎	貴志	ひろし	守克	清一	健治	静男	達夫	直樹	藤四郎	千尋		敏明	克巳	守彦
提出 議案	市議案 第59号	市道路線の認定について（その2）		可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/2			
	市長議案 第62号	令和3年瑞穂市一般会計補正予算（第7号）		可	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11/2			

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥
立…立憲民主党、公…公明党、朱…朱鷺の会、み…みずほ令和の会、共…日本共産党
議長は採決に加わりませんので、「—」で表示してあります。（議長 広瀬武雄）

議会活動日誌

8月

- 2日 議会広報編集委員会
6日 総務委員会協議会
10日 文教厚生委員会研修会・協議会
12日 全員協議会
研修・予算決算検討部会
20日 意見交換・情報発信検討部会
23～24日 市町村議会議員研修
25日 議会運営委員会
全員協議会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
27日 市町村議会議員セミナー
30日 令和3年第3回瑞穂市議会定例会（初日）
会派別議案説明会
31日 会派別議案説明会

9月

- 6日 議会運営委員会
7日 令和3年第3回瑞穂市議会定例会（総括質疑）
議会基本条例推進特別委員会
議会運営委員会
9日 産業建設委員会・協議会
10日 文教厚生委員会・協議会
13日 総務委員会・協議会
15日 令和3年第3回瑞穂市議会定例会（一般質問）
議会運営委員会
瑞穂市表彰審査会
16日 令和3年第3回瑞穂市議会定例会（一般質問）
全員協議会
意見交換・情報発信検討部会
22日 令和3年第3回瑞穂市議会定例会（最終日）
全員協議会
議会基本条例推進特別委員会
議会広報編集委員会
30日 議会運営委員会

10月

- 13日 もとす広域連合議会（議会運営委員会）
総務委員会協議会
15日 文教厚生委員会協議会
産業建設委員会・協議会
18日 議会広報編集委員会
19日 岐阜地域児童発達支援センター組合議会定例会
20日 もとす広域連合議会定例会（初日）
21日 もとす広域連合議会（老人福祉常任委員会）
22日 もとす広域連合議会（総務介護常任委員会）
25日 もとす広域連合議会（療育医療常任委員会）
西濃環境整備組合議会定例会
27日 議会運営委員会
全員協議会

令和3年度意見交換会
中止のお知らせ

市議会では、議会基本条例に基づき、意見交換会を開催することとなっていますが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も中止することといたしました。

皆様の健康と安全確保のため、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

会 派 変 更

無所属の会より、会派の名称と代表者の変更があり、令和3年8月30日、議長に届出が提出されました。

	変 更 前	変 更 後
名 称	無所属の会	創 緑 会
代 表 者	森 清 一	広瀬 守克

令和3年第4回定例会日程（予定）

11月・12月

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		本会議（初日・議案提案説明）				
5	6	7	8	9	10	11
			本会議（総括質疑・委員会付託）	産業建設委員会	文教厚生委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	総務委員会	委員会予備日	本会議（一般質問）	本会議（一般質問）	本会議（一般質問予備日）	
19	20	21	22	23	24	25
		本会議（最終日・委員長報告・質疑・討論・採決）				
26	27	28	29	30	31	

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

楽しく しっかり学ぶ “防災” ～キャンプから学ぶ 災害時に生き抜く力～

10月22日、23日と、西小学校5、6年生による防災キャンプが開催されました。
「快適な暮らし」の中にいた子どもたちが、学校での避難所生活を体験。

2日間の体験活動で、子どもたちは、過酷な環境の中を生き抜く力、他者と支え合っ
て課題に向かう力を身に付け、災害時に役立つ様々な知恵や知識を学びました。



防災テントの設営

子ども2～3人で設営できる防災テント。
ワンタッチでプライバシー確保！



食事の準備

ポリ袋にお米と水を入れて、袋の中の空気を抜いて、余裕をもたせて口を縛る！
鍋で沸かす水は、雨水でもOK！ 15分煮て、蒸らして、ご飯が完成！



救助活動

毛布と物干しざおで作る簡易担架や三角巾
を使った応急措置などを体験。



夜には美しいモニュメント！

牛乳パックで作った灯籠が、
灯されました。細かく刻まれた
模様から漏れる光が、とても綺
麗でした。

